

Cisco EnergyWise コントローラ コンポーネントのための大きいディスク使用

目次

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決策](#)

- [1. エラー ログによる大きいサービス/ディレクトリ](#)
- [2. Service/DB ディレクトリをクリーンアップする問題](#)
- [3. ログファイルまたは解除されたはつきりしたサイクルの詳細による大きいログ/ディレクトリ](#)

概要

この資料は Cisco EnergyWise 管理 (CEM、CEM または CEWMS) コントローラ インストールの特別に大きいディスク使用のための原因およびソリューションを記述したものです。 エネルギー関連情報を検索するか、または制御したいと思うデバイスが CEM はコントローラ コンポーネントをエンドポイントと通信するために使用します。

問題

コントローラの領域使用状況は普通かなり限られま、幾分安定しています、場合によってはが、インストール ディレクトリは育ち始め、すべての領域の上で食べ始めます。 領域問題は複数の原因があり、領域使用状況はインストール フォルダの複数のサブディレクトリにある場合もあります。 ほとんどのコモン コーズおよびソリューションは技術情報の他で見つけることができます。

解決策

1. エラー ログによる大きいサービス/ディレクトリ

コントローラが予想に反してやめるか、またはエラーを経験する度に、自動的にシステム監視サービスによって回復得、エラーが発生したことにエンドユーザは普通実際に注意しません。

そのような例外が発生するとき、ログファイル (.log) およびミニダンプ (.mdmp) ファイルはコントローラ インストール ディレクトリのサービス/ディレクトリで作成されます (デフォルトで: C:\Program Files\Cisco エネルギー管理コントローラ\サービス)。 これらのファイルは 350MB 平均のまわりにあり、コントローラ サービスが複数の例外に一定時間にわたり苦しめば、これらのファイルによって使用される領域はここに見られるようになりかなり多くなる可能性があります:

```
C:\Administrator: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>cd C:\Program Files\Cisco Energy Management Controller\service

C:\Program Files\Cisco Energy Management Controller\service>dir
Volume in drive C has no label.
Volume Serial Number is CC86-F6C8

Directory of C:\Program Files\Cisco Energy Management Controller\service

02/08/2016 04:58 AM <DIR> .
02/08/2016 04:58 AM <DIR> ..
01/05/2016 06:41 AM <DIR> acfiles
09/08/2015 03:41 AM 2,157 cem_keypair.key
09/08/2015 03:48 AM 3,481 cem_mq_ssl_x509certificate.trusted
12/18/2015 02:09 PM 351,707 CiscoEnergyWiseApi.dll
12/18/2015 02:09 PM 26,112 CiscoEnergyWiseApiJNI.dll
12/18/2015 02:09 PM 395,048 CiscoEnergyWiseSdk.dll
12/18/2015 02:09 PM 22,016 CiscoEnergyWiseSdkJNI.dll
01/05/2016 06:41 AM <DIR> commands
12/18/2015 02:09 PM 173,533 controller.jar
12/18/2015 02:09 PM 101,243 datafields.js
01/11/2016 04:52 AM <DIR> db
01/05/2016 06:41 AM <DIR> edata
12/18/2015 02:09 PM 14,848 GetCurrentThreadIdJNI.dll
09/08/2015 05:51 AM 44,352 hs_err_pid1516.log
09/08/2015 05:51 AM 351,583,282 hs_err_pid1516.mdmp
09/08/2015 05:43 AM 44,306 hs_err_pid1636.log
09/08/2015 05:43 AM 354,685,324 hs_err_pid1636.mdmp
09/08/2015 05:56 AM 44,317 hs_err_pid2424.log
09/08/2015 05:56 AM 354,241,504 hs_err_pid2424.mdmp
09/08/2015 05:50 AM 44,442 hs_err_pid4304.log
09/08/2015 05:50 AM 352,434,364 hs_err_pid4304.mdmp
09/08/2015 05:41 AM 44,503 hs_err_pid4476.log
09/08/2015 05:41 AM 353,917,924 hs_err_pid4476.mdmp
09/08/2015 05:39 AM 46,760 hs_err_pid4640.log
09/08/2015 05:39 AM 396,047,126 hs_err_pid4640.mdmp
09/08/2015 05:57 AM 44,289 hs_err_pid4888.log
09/08/2015 05:57 AM 351,475,788 hs_err_pid4888.mdmp
09/08/2015 05:40 AM 44,141 hs_err_pid4916.log
09/08/2015 05:40 AM 352,521,584 hs_err_pid4916.mdmp
09/08/2015 05:45 AM 44,493 hs_err_pid5100.log
09/08/2015 05:45 AM 351,863,144 hs_err_pid5100.mdmp
```

最初の原因のためのソリューションは動作コントローラの影響なしで .log および .mdmp ファイルを削除できるように幾分簡単です。ファイルがなぜある、そして定期的に現われたらか原因がある必要があることに留意して下さい。ログ/ダンプする生成の原因の調査から開始することが得策です。

2. Service/DB ディレクトリをクリーンアップする問題

service/db ディレクトリはコントローラが受け取るデバイス情報のログが含まれています (デフォルトで: C:\Program Files\Cisco エネルギー管理コントローラ\サービス\db)。通常これらのファイルは管理され、自動的にクリーンアップされて得ます。

場合によっては、このディレクトリのサイズは育ち始め、(いくつか)より古いファイルは自動的にクリーンアップされてもう得ません。通常、問題は1つのファイルから開始し、かなり速く拡張します。これは (a) ロックされたファイルか余りにも大きいファイルによって削除するには引き起こされる場合があります。問題が現われれば、その1つのファイルは残りの物のための問題を引き起こしています。

このディレクトリがデータが含まれていることは正常です。実際にこれに関する問題に直面するかどうか確認するために settings.json の DeleteOlderThan 設定より古いディレクトリにファイルがあるかどうか表示できます (デフォルト設定は 32 日です)。

第 2 原因のためのソリューションは動作コントローラ 例に可能性としては有用な情報が原因害を削除できるのでより多くの注意をやや必要とします。最初に、大きいファイルが実際に settings.json の DeleteOlderThan 設定より古いことを確認する必要があります (デフォルト設定は 32 日です)。それが事実である場合、これらの操作を行うことができます:

1. システム監視サービスを停止して下さい
2. コントローラを停止して下さい
3. CEM コントローラ\サービス\ db の内容を削除して下さい
4. コントローラを開始して下さい
5. システム監視サービスを開始して下さい

3. ログファイルまたは解除されたはっきりしたサイクルの詳細による大きいログ /ディレクトリ

それは正常挙動をそのログ/ディレクトリと考慮しました (デフォルトで: C:\Program Files\Cisco エネルギー管理コントローラ\ログは) 一定時間にわたり育ちがちです。特にいくつかを//アップグレード実験テスト... するときログ/ディレクトリが相当な量の領域になり、決して縮まらないという可能性があります。これは可能性としては問題を引き起こすかもしれません。

ディレクトリのための原因は大きくなる、デフォルトで、コントローラ ログ ファイルはっきりしたサイクルが無効になることです。

これらのコントローラ設定をチェックすることが得策および最良の方法です:

水平なコントローラ ログ:

水平なデフォルト コントローラ ログは (INFO) かなりの量に使用された領域を保存する間、よい設定、十分な情報を与えます。誰かがデバッグまたはトレースのようなより冗長な設定にログレベルを変更したら、ログファイルは領域で急速に育ちます。より冗長があるログレベルのための特別な原因がない場合この設定が INFO のためであるようにして下さい。

コントローラ ログ ファイルはっきりしたサイクル:

コントローラ ログ ファイルはっきりしたサイクルはログファイルがログで保存する必要があること日数です。デフォルトで、意味するファイルは永久にそこに居ることをはっきりしたサイクルは無効になります。はっきりしたサイクルを有効にするために、ログ・ ファイルを保存してほしい幾日の数に 0 のデフォルト値を変更して下さい。

できます CEM のこの場所のコントローラ ログ レベルおよびコントローラ ログ ファイルはっきりしたサイクルを確認・ 変更するためにインターフェイスさせて下さい: **設定 > コントローラ > Edit 設定 > イメージ**に示すように**設定**および:



Test

Test1 controller@CEWMSS-2

Test2 controller@cewms5-controller-1

Settings for Controller: controller@cewms5-controller-linux

Overview

Folder Assignment

Settings

Software Updates

Energy Prices

TruJoule

File Management

License Information

Controller Plugins

Asset Proxies

Controller Health

System

General System settings. HELP

Settings

+ Add Show Settings ▾ Edit ▾

Asset Scanner Settings

Asset Access Mode	standard
Asset Measure Interval	30 minu...
Asset Scan Interval	5 minutes

General

Controller Log File Clean Cycle	0 days
Controller Log Level	INFO
Controller Name	
Installation Date	2015/09...

Network Settings

Directed Broadcast Enabled	false
DNS Resolve Enabled	true
ICMP fall back Enabled	true